

多米小学校のESD活動

<活動の概要>

- ・「伝えよう未来へ！多米の自然のすばらしさを」を活動テーマとして、ESDを自然豊かな地域に対する愛着を育て自然を守るための具体的な方策を探るものだと捉えている。ESDの実践を通して、問題に気づき、仲間とともに解決しようとする力の育成を目標とした。
- ・校区を流れる朝倉川の豊かな水とそこに生きる多様な生き物との関わりを柱に、「水辺に生きる魚や虫たちと関わる学習」「稲作に関わる体験学習」「多米の自然環境に関わる学習」を行った。

・活動の実際

① 水辺に生きる魚や虫たちと関わる学習 ～川となかよし～（1、2年生）

学校の近くの朝倉川に行き、川たんけんを行った。冷たい水の中をすべらないように気をつけて歩き、たくさんの魚やザリガニ、ドジョウなどの生き物を見つけた。この活動を通して、たくさんの生き物がいる朝倉川が大好きになった。



いろいろな生き物を見つけたよ

② 多米の自然環境に関わる学習 ～朝倉川ホタル増大プロジェクト・多米のために～（4年生）

1学期にSDGsについて学んだ子どもたちは、ごみが環境に悪影響を与えることを知った。低学年の頃から親しみのある朝倉川にもごみがあることに気づき、夏にはホタルが舞う自然豊かな多米の未来を心配する気持ちをもった。朝倉川育水フォーラムの方の話を聞き、そこで多くの生き物が生息していること、命が繋がっていくことなどに思いを馳せ、多米の自然を守りたい、朝倉川のホタルを守りたいという思いを高めた。自分たちでできることを話し合い、朝倉川で530運動を行ったり、全校児童や地域に環境保全を呼びかけたりする活動を始めた。



朝倉川でゴミ拾いをしたよ

③ 稲作に関わる体験学習 ～KT（コメ・タメ）プロジェクト～（5年生）

農家の方の指導のもと、学校の近くの田んぼで田植えや稲刈りなどを行った。米作りの一部を体験したことで、田んぼの仕組みや米作り、それらに関連する自然環境により興味をもち、さらに調べていこうと意欲を高めた。



稲の束ね方を教えてもらったよ